

たかおか

市議会 だより

No.76 9月定例会号
令和6年(2024年)11月1日発行

9月定例会のあらまし	2P
議決結果一覧	3P
代表質問	4P
一般質問(一括質問・一括答弁)	6P
委員会の動き	10P

編集■広報広聴委員会

発行■高岡市議会

〒933-8601 高岡市広小路7-50

TEL 0766-20-1531

FAX 0766-20-1534

E-mail : gikai@city.takaoka.lg.jp

令和6年度議会報告会に参加された高校生の皆さん



市議会ホームページから過去の本会議の会議録の閲覧・検索ができます。
本会議の録画映像は YouTube で配信しています。
パソコンやスマートフォンなどでご覧になれます。

ホームページは
こちら→



YouTube の
視聴はこちら→



補正予算・条例など

14議案を可決・同意

代表・一般質問に14人が登壇

9月定例会は6日に開会し、27日に閉会しました。
市長から令和6年度一般会計補正予算をはじめ18議案が提出され、うち14議案を可決・同意し、令和5年度決算の認定をはじめ4議案を継続審査しました。
今定例会では、代表質問・一般質問に14人の議員が登壇し、白熱した議論を展開しました。

可決・同意した 主な議案等

条例

■行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正

児童手当法の改正に伴い、児童手当制度における特例給付が廃止となるため、特例給付に関する規定を削除するもの。

■国民健康保険条例の一部改正

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律における国民健康保険被保険者証を廃止する改正規定の施行に伴い、被保

険者証に関する規定を削除するほか、引用条項を整理するもの。

(施行期日)

令和6年12月2日

■ひとり親家庭等医療費助成条例の一部改正

児童扶養手当法施行令の改正により、所得制限限度額が引き上げられることに伴い、所得制限限度額を準用している引用条項を整理するもの。

■妊産婦医療費助成条例の一部改正

児童手当法施行令の改正に合わせ、妊産婦医療費助成において所得制限を撤廃するもの。

■高岡市民病院事業の設置等に関する条例の一部改正

高岡市民病院4階中病棟の一部個室化に伴い、精神病床

数を50床から42床に変更するもの。

(施行期日)

令和6年12月10日



高岡市民病院精神神経科病棟の一部を個室に改修

その他

■製造請負契約の締結

老朽化した高機能消防指令システム及び消防救急デジタル無線設備を更新するもの。
契約金額 22億3872万円

■財産の取得

中心市街地活性化推進のため、御旅屋セリオの建物の一部を取得するもの。

(所在) 御旅屋町101番地
(取得価格) 8億1152万円

人事

■教育委員会委員

永岩 聡氏(新任)

■公平委員会委員

二口 真氏(新任)

議会報告会を開催しました

令和6年10月5日(土)9時30分から、高岡市議会議事堂において、議会報告会を開催しました。

今回の議会報告会は、若い世代の意見を聴取し、市政及び議会活動への反映を目指すとともに、若い世代の地方自治への関心や主権者としての意識の醸成を図ることを目的とし、初めて高校生を対象に開催しました。

当日は、23名の高校生に参加いただき、議員から市議会の仕組みや役割、取組内容等について説明・報告を行った後、高校生が議長役、市長役、議員役などに分かれ、本会議を模擬体験していただきました。その後、「高岡の魅力的なところ・将来求めるところは」というテーマについて、班に分かれて意見交換を行い、高校生ならではのフレッシュなご意見をいただきました。最後に、各班から意見交換の結果について発表していただき、盛況のうちに閉会しました。



議会報告の様子



模擬議会体験の様子

たかおか市議会だよりの 表紙写真を募集しています!!

下記のQRコードを読み取るか、インターネットで「たかおか市議会だよりの」と検索して応募フォームへアクセスしてください。たくさんの応募をお待ちしております。

(応募するためには、Google アカウントが必要です。)



応募フォームはこちら▶

YouTubeでの 映像配信を行っています!!

本会議の録画映像について、YouTubeでの配信を行っています。表紙のQRコードから映像の一覧を確認できます。また、4～9ページの各議員の顔写真横のQRコードからは、各議員の質問の様子を確認できます。ぜひご覧ください。

横田誠二議員から副議長の
辞職願が提出され、議長によ
り許可されました。
(副議長辞職年月日)
令和6年10月7日

議会構成変更のお知らせ

議 会 日 誌

6月定例会後～9月定例会前

- 6月28日 広報広聴委員会
- 7月 5日 広報広聴委員会
- 9日～10日 議会運営委員会行政視察
- 12日 代表者会議
- 16日～18日 産業建設常任委員会行政視察
- 17日～18日 総務文教常任委員会行政視察
- 23日 民生病院常任委員会
- 29日 港湾・交通・観光対策特別委員会
- 産業建設常任委員会
- 30日 総務文教常任委員会
- 31日 広報広聴委員会
- 人口減少社会対策特別委員会
- 8月 1日 議会改革検討委員会
- 5日～7日 民生病院常任委員会行政視察
- 9日 代表者会議
- 28日 代表者会議
- 29日 議会運営委員会
- 代表者会議
- 9月 2日 正副常任委員長会議
- 議会改革検討委員会
- 3日 広報広聴委員会

9月定例会

- 9月 6日 議員協議会
- 本会議(提案理由説明)
- 議案説明会
- 12日 本会議(代表質問)
- 18日 議会運営委員会
- 本会議(一般質問(一括))
- 19日 本会議(一般質問(一括))
- 水道病院決算特別委員会
- 決算特別委員会
- 24日 代表者会議
- 民生病院常任委員会
- 産業建設常任委員会
- 25日 議会改革検討委員会
- 総務文教常任委員会
- 27日 委員長会議
- 議会運営委員会
- 議員協議会
- 本会議(議案など議決)

議決結果一覧表 (令和6年9月定例会)

[議 案]

番号	件 名	結果
第106号	令和6年度一般会計補正予算(第3号) 11億9,319万円 ＜補正予算の主な内容＞ ・公共交通活性化事業 1億2,527万円 ・国補助農地災害復旧事業 1億335万円 ・市単独農地災害復旧事業 4,000万円 ・電気料金(特別高圧)高騰対策事業 3,000万円 ・復旧工事推進住宅運営事業 2,000万円 ・公共施設等整備改修基金への積立て 6億円 ・財政調整基金への積立て 2億円 など	可 決
第107号	令和6年度介護保険事業会計補正予算(第1号)	
第108号	令和6年度高岡市民病院事業会計補正予算(第1号)	
第109号	令和6年度下水道事業会計補正予算(第2号)	
第110号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正	
第111号	国民健康保険条例の一部改正	
第112号	ひとり親家庭等医療費助成条例の一部改正	
第113号	妊産婦医療費助成条例の一部改正	
第114号	高岡市民病院事業の設置等に関する条例の一部改正	
第115号	下水道条例の一部改正	
第116号	製造請負契約の締結 (高機能消防指令システム及び消防救急デジタル無線設備)	
第117号	財産の取得(建物)	
第118号	令和5年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分	継 続 審 査
第119号	令和5年度下水道事業会計未処分利益剰余金の処分	
第120号	教育委員会の委員の任命について同意を求める件	同 意
第121号	公平委員会の委員の選任について同意を求める件	

[認 定]

番号	件 名	結果
第1号	決算の認定 (令和5年度高岡市民病院事業会計決算) (令和5年度水道事業会計決算) (令和5年度工業用水道事業会計決算) (令和5年度下水道事業会計決算)	継 続 審 査
第2号	決算の認定 (令和5年度一般会計歳入歳出決算) (令和5年度国民健康保険事業会計歳入歳出決算) (令和5年度荻布奨学金事業会計歳入歳出決算) (令和5年度駐車場事業会計歳入歳出決算) (令和5年度介護保険事業会計歳入歳出決算) (令和5年度後期高齢者医療事業会計歳入歳出決算)	

いずれも全会一致で、可決、同意されました。

(議案第118号、議案第119号、認定第1号及び認定第2号を除く)

代表質問

今定例会では、2会派の代表が市政全般にわたり質問しました。主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



未来創政会
曾田 康司

曾田議員の
質問の様子はこちら



地震からの復旧・復興

問 液状化被害の大きい地区における対策の検討状況と今後の見通しは。

都市創造部長 これまで、液状化被害の大きい伏木、吉久、横田の各地区において、現地踏査や地盤調査を終え、令和6年7月に委嘱したアドバイザーから助言をいただきながら、土質や地下水位の状況、液状化発生原因などの分析を行っており、6年10月にその結果を公表する。また、アドバイザーからは、有効な対策工法を検討するにあたり、より詳細な土質や地下水位の状況を把握する必要があると助言をいただいている。市としては、今後、国の支援を受けながら、追加で地盤調査を行



アドバイザーと被災箇所を調査

う予定であり、6年度末を目途に、有効な液状化対策工法を示すことができるよう検討を進めていく。

今後の財政運営

問 今後の財政運営に向けた考えは。

市長 令和5年度決算時点では、市債残高を着実に減少させるなど、順調に財政の健全化を進めることができている。しかし、令和6年能登半島地震からの復旧・復興をはじめ、公共施設・インフラの更新に

市庁舎の更新

問 市庁舎更新のための検討状況は。

総務部長 現在、庁舎の適正規模や整備費用を試算するとともに、今後、他の公共施設整備など大型事業の計画等を

考慮し、財政的に庁舎の整備が可能となる時期を見極めるなど、様々な観点から調査や協議を進めている。令和6年度中に、整備に向けてのロードマップを示すことができるよう、引き続き検討していく。

教育・保育ニーズへの対応

問 保育園・幼稚園に関わる職員について、今後、深刻な人材不足に陥ることが懸念されるが、見解は。

福祉保健部長 本市では、国の処遇改善制度を活用し、賃金改善に取り組んできているほか、市内私立園への就労を促すため、令和5年度から市独自に保育士等就労助成制度を創設し、教育・保育人材の確保に努めている。また、保育士、幼稚園教諭等の業務負担の軽減を図るため、保育業務システムの導入支援のほか、書類作成の簡素化や会議のオンライン化を推進している。こうした取組に併せて、毎年、教育・保育人材の確保のための支援や保育士の業務負担軽減について、国・県に要望しているところである。引き続き国・県と連携しながら、多様化する教育・保育ニーズに対応し、子どもの育ちを支える人材の確保を進めていく。

地方創生に向けて

問 国が示した「地方創生10年の取組と今後の推進方向」について、本市としてどのように捉え、地方創生に向けた取組を進めていくのか。

市長 全国的に人口減少の流れに歯止めがかかっていない状況にあり、国においても、「人口減少や東京圏への一極集中の大きな流れを変えるに至っておらず、地方が厳しい状況にある」と総括している。この報告にもあるように、少子化対策と東京圏への過度な人口集中に対しては、国全体として戦略的に取り組む必要があり、個々の自治体の努力には限界があると受け止めざるを得ないが、諦めるわけにはいかない。地方創生は国と地方の取組がしっかりと噛み合っこそ効果が得られるものであり、市としては、少子化対策等の施策を国が主導的に実施するよう強く求めているとともに、これらと連動して本市の強みと特性を活かしながら施策を積極的に展開していくことが重要であると考えている。本市においては、「持続可能な未来都市 高岡」の実現に向けた市民の挑戦や、地域の未来を考え主体的に動

く地域の挑戦が根付き始めており、これらの挑戦によりヒト・モノ・コトを循環させ、地方創生に向けた推進力としていきたい。



自由民主党
高岡市議会議員

林 貴文

林議員の
質問の様子はこちら



財政見通しと市民への周知

岡 歳出の増加要因がある中で、近年は市債の繰上償還と基金の新設・積み立てを行いながらも、一定規模の決算剰余金が生じ続けているが、今後の財政見通しは。また、市民に分かりやすく周知する必要があると考えるが、所見は。

総務部長 震災復興計画に基づく事業と、学校の再編統合等の大型建設事業を両立させながら、市民生活への影響を考慮し、遅滞のないよう実施していかねばならない。物価高騰等、経済情勢が不透明な現状を踏まえると、今後の財政状況は楽観視できず、緊張感を持った財政運営を行う必要がある。市民への周知

の際には、現時点の財政状況だけでなく、将来の投資計画を含めた長期的展望に立った見通しも示すなどの工夫も必要と認識している。今後開催予定の行財政改革市民懇話会等の機会を通し、基金の活用や市債発行の考え方等、重要となるポイントを明確にして分かりやすく説明したい。

人口減少への対応

岡 国の「地方創生10年の取組と今後の推進方向」では、生産年齢人口の減少や日常生活の持続可能性の低下などが既に顕在化している地域もあるとされ、人口減少に対応した社会づくりを一層進める必要があると考えるが、方針は。

市長 本市では、総合戦略「みらい・たかおか」に基づき、安心して子育てができるサービスの充実や小中一貫校の推進、産学官金の連携による新事業の創出、地域資源を活用した起業や創業等の取組を進めてきた。地方創生が目指すところは、誰もが安心して快適に暮らせる活力ある地域社会であり、行政、市民、事業者等が一体となり、地域の特性や強みを生かして戦略的に施策を展開することが重要である。このため、本市の総合

計画では、総合戦略をリーダーイングプロジェクトに位置付け、「都市の強み」、「まちの魅力」、「ひとの力」を生かし、市民とともに挑戦し続けることで、次の世代からも共感を得られる「持続可能な未来都市 高岡」の実現に向けた取組を今後も加速させていく。

公共インフラの早期復旧

岡 震災復興計画の復旧・復興ロードマップにおける、道路・下水道・河川等の公共インフラの早期復旧に向けた進捗状況は。

副市長 令和6年10月中旬頃から伏木地区の下水道及び準用河川の新川、6年11月中旬頃から道路の復旧工事に着手



伏木駅前のボーリング調査の様子

する予定である。特に被害の大きかった伏木、横田、吉久地区では、上下水道や道路等の複数の工事を同時期に実施するため、復旧方法やスケジュール等に関する住民説明を行いながら、工事着手に向けて準備を進めている。市としては、被災地を一日も早く復旧させるため、本定例会にて予算を提案している復旧工事推進住宅運営事業により、工事期間中は沿線住民に仮住まいをしていただくことなどで、施工の効率化と工期短縮を図り、震災復興計画で定める8年度末までの復旧完了を目標に全力で取り組んでいく。

総合体育館建設に向けた決意

岡 東洋通信スポーツセンターの老朽化の状況を鑑みると、代替施設の早急な対応が喫緊の課題であるが、総合体育館の早期建設に向けた決意は。

市長 東洋通信スポーツセンターは昭和35年に建設され60年以上経過し、中長期的な利用が見込めないため、早い段階で代替施設となる新しい体育館整備の検討が必要である。教育将来構想検討会議において、総合体育館を含めた体育施設のあり方を検討中であり、近く教育委員会に報告書を提

出予定と伺っている。この報告書の内容も十分に参考とし、教育委員会とも協議を重ね、将来を見通した市の総合体育館整備を含めた体育館施設の具体的な整備計画をできるだけ早く示したい。

企業団地造成の今後の考え方

岡 企業誘致のための団地造成の今後の考え方は。

産業振興部長 今後も更なる産業振興を図るには、自然災害に向けたBCP対策としての事業所の分散化や、物価高騰等を踏まえた生産拠点の国内内帰、事業効率化を目的とした工場集約化など、多様化する企業活動に対し、的確に対応することが必要であり、その一つが産業用地の確保と考えている。このため、本市では、新たな産業用地の確保に向け、富山高岡広域都市計画の区域区分の見直しにあわせ、工業系の変更希望箇所を提出しているところである。また、産業用地の確保に向け、適地調査や専門家派遣などに対する国の支援制度を取り入れながら、民間による開発も含めて様々な開発手法について幅広く検討し、他の自治体に遅れることなく、企業立地の可能性を高めていきたい。

一般質問

(一括質問・一括答弁)

今定例会では、12人が市政全般にわたり一括質問・一括答弁方式で質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



田中 勝文
未来創政会

田中議員の
質問の様子はこちら



高岡の観光魅力向上

問 本市が目指す観光ブランド戦略は。

市長 本市が目指す観光ブランド戦略としては、来訪される方に本市の歴史や文化などに触れていただき、本市のファンやリピーターになっていただくことが重要であり、そのためには、本市の観光資源



美しくライトアップされた瑞龍寺

について、関係するすべての方々が主体性をもち、その強みを生かすことが必要と考えている。市としては、令和6年10月に、観光サイトをリニューアルするなど、意欲ある観光事業者や市民等による情報発信力の強化等を進めていく。加えて、インバウンド対応を含めた新たな体験型コンテンツの造成支援等に取り組み、更なる誘客を図っていく。

地域防災力の向上

問 防災士スキルアップ研修を行うことで期待されることは。

総務部長 令和6年度に、市内の防災士を対象に実施している防災士スキルアップ研修では、防災に関する講義や避難所運営ゲームを通じ、災害リスクや避難所の開設・運営に関する知識、技能の向上を目指している。市としては、研修で身に付けたスキルを、地域の自主防災組織等が行う防災意識啓発のための講座の実施や防災訓練などに生かしていただき、地区防災計画作成の際には、アドバイザーと



藪中 一夫
自由民主党
高岡市議会議員会

藪中議員の
質問の様子はこちら



ゲームフィケーション

問 デジタル社会の実現の一環として、DXを推進し、ゲームフィケーションを今後の施策に導入しては。

市長 本市では、令和6年度に導入したTAKAOKAアプリを活用した健康づくりの取組の中で、実績に応じてポイントを付与するなど、ゲームフィケーションの効果的な側面を生かし、多くの市民に参加いただける企画として実施している。今後の施策への導入にあたっては、TAKAOKAアプリの利用状況や施策の効果などを踏まえながら、導入可能な分野について検討し、満足度の高い行政サービ

スの提供に向けて取り組んでいきたい。

北陸新幹線の利用促進

問 北陸新幹線開業10周年を市民全員で祝うための開業イベントを実施しては。

未来政策部長 令和7年3月に新高岡駅が開業して10周年を迎える。本市では、この節目にマイレール意識の醸成に向けて、市民の方々に北陸新幹線や新高岡駅を更に身近に感じていただき、将来を担う子どもたちの心に残る記念イベントを開催したいと考えている。具体的な内容については、今後、新幹線まちづくり推進高岡市民会議で協議していくこととしており、世代を問わず、多くの方に新高岡駅周辺エリアにお越しいただき、楽しんでいただけるような企画となるよう調整していきたい。



熊木 義城
高岡愛

熊木議員の
質問の様子はこちら



地域交流センターの運営

問 地域交流センター設置後

の取組について問う。
(1)利用用途が広がり、すべての施設が地域による運営に変わったが、円滑に運営がされているのか。

(2)民間事業者など新たな利用者への対応について、具体的な利用基準を示しては。

生活環境文化部長 (1)地域交流センターの設置に伴い、施設の運営を地域に委託し、幅広い用途に利用ができるようになった。令和6年度当初は地域で雇用する職員の労務管理、施設使用料の徴収業務などについて、センター職員から担当課である地域課に多くの問合せがあった。本市では、センター職員からの問合せに丁寧に対応するとともに、定期的に開催している事務局長会議を通じ、業務に対する不安や疑問の解消を図ってきた。現在は、おおむね滞りなく運営が行われていると考えている。今後も更なる業務の効率化を図るなどサポートしていく。
(2)地域交流センターの利用について、民間事業者など利用用途拡大に伴う新たな利用申込に関して疑義が生じた場合には、その都度、センターと地域課が連絡を取り対応している。今後も各センターと相互に連絡を取り、様々な利用

に対応するとともに、民間事業者などの新たな利用者への対応に向け、施設の具体的な利用基準や注意事項などを作成して周知していきたい。



山上 尊士
公明党

山上議員の
質問の様子はこちら



カーボンニュートラル

図 カーボンニュートラルについて問う。

(1)リユース・リサイクルに取り組んでいる民間事業所と連携、協力することにより、更なるごみの削減につながると考えるが、見解は。

(2)カーボンニュートラルの実現に向けた本市の目指すべき姿は。

生活環境文化部長 (1)本市では、民間事業者と連携したフードドライブを推進し、事業者においては、事業系一般廃棄物減量化・資源化計画書の作成等により、ごみの減量化に取り組んできた。今後は、企業による常設フードドライブ窓口設置への働きかけを行うほか、絵本ドライブ・衣服ドライブなどの検討を進め、

更なるごみの削減に向け、民間事業者との新たな連携・協力方法を模索していきたい。

市長 (2)エネルギー分野等の産業育成・地域ビジネスの創出に挑戦することで、経済の活性化・雇用創出・人口減少克服などの地域課題について同時解決を目指していく。市全体でカーボンニュートラルに取り組むこととし、まずは本市の基幹産業であるアルミを皮切りに、市民、地域、企業、大学、行政が一体となり、資源循環によるサーキュラーエコノミーの構築を目指していく。ゆくゆくはアルミ以外の資源にもこの仕組みを拡大させ、「持続可能な未来都市高岡」の実現に向けて邁進していく。



アルミとプラスチックの回収ボックス「さあ、ECO BASE」



出町 譲
高岡愛

出町議員の
質問の様子はこちら



体育施設のあり方

図 竹平記念体育館にサブアリーナを建設し、その後、総合体育館を整備するのは、二重投資にならないか懸念されるが、見解は。

教育長 現在、教育将来構想検討会議において、今後の体育施設のあり方を検討しており、東洋通信スポーツセンターの中長期的な利用が見込めないことを踏まえると、早い段階での代替施設の検討が必要との意見をいただいている。教育委員会としては、最終報告書を受けた後、体育施設の具体的な整備計画を策定する。その際、今後の市全体の体育館施設の利用状況、施設の状態、市の財政運営も見据えながら、投資効果についても検討していく。

博物館移転の検討状況

図 2年前に打ち上げた博物館の移転については、現時点でどこまで議論が進んでいる

のか。

生活環境文化部長

博物館は、施設の老朽化や、史跡内である現地での建て替えが困難であることなどを踏まえ、美術館と一体的に整備する方向を表明しており、今後、建物の整備方針、新施設の機能・役割・展示計画、収蔵物の取扱いに係る方針等を検討することとしている。令和6年度に実施している博物館整備基礎調査において、現美術館の土地、建物等の状況を把握するとともに、整備形態によって懸念される構造的課題を整理しており、更なる検討を進めていく。



梅島 清香
未来創政会

梅島議員の
質問の様子はこちら



中小企業の投資促進

図 女性の働く環境改善促進事業の内容と期待される効果は。また、その狙いは。

産業振興部長 本事業は、女性の労働環境の改善に向け、トイレや更衣室等といったスペースの新設または改修等を実施する中小企業に対し、必

要な費用の一部を支援するものである。事業の実施により、女性就業の増加につながるような就労環境の改善だけでなく、企業側においても、企業の価値向上に向け、女性雇用の拡大を職場の風土改善や組織の競争力強化に生かすなど、固定化した価値観を若い世代に強いることのない意識変革が企業に広がっていくことを期待している。

こどもまんなかの推進

図 令和6年度は第2期高岡市子ども・子育て支援事業計画の最終年度となるが、次期計画ではこどもまんなかをどのように進めていくのか。

市長 こども基本法や国のこども大綱を踏まえ、本市では高岡市こども計画(仮称)を策定することとしている。本計画では、問題を抱えることどもへの支援体制を強化するとともに、近年、結婚や出産に関する価値観が多様化する中で、望む方が安心して結婚・出産できるよう子育て世帯への経済的支援や仕事と子育てを両立するための支援の拡充など、全方位的に施策を展開していきたい。これらを通じ、こどもまんなかの取組を推進することにより、こどもたちが夢や希望を持って成長し、

更に次の世代へとつなぐ循環を生み出せるよう取り組んでいく。



荻田 悦子

立憲民主
社民議員団

荻田議員の
質問の様子はこちら



市民病院の診療体制

問 令和4年度以降、医師の減少で診療体制を縮小するなどの診療科の状況と患者への影響は。また、患者数の減少をどのように捉えているのか。

市民病院事務局長 4年度は脳神経外科、5年度は胸部・血管外科の常勤医が不在となり、また、6年度からは産婦人科で分娩が休止となった。これらの診療科の入院患者や分娩については、他病院へ紹介せざるを得ない状況であるが、外来は非常勤医により継続しており、救急も応援医師により受入体制を確保しているため、地域医療への影響は限定的とみている。患者数の減少は、人口減少が要因の一つと考えられる。入院では、入院期間の短期化が進んだこと、一部診療科の常勤医が不

在・減少したことに加え、5年度は新型コロナウイルス感染症の患者減も要因と考えている。外来では、国において初診患者のかかりつけ医での受診が促進されていることが要因と考えている。

資材等高騰への農業者支援を

問 資材・肥料の高騰に対し令和5年度はその一部を県と市が支援したが、6年度も支援が必要では。

産業振興部長 6年度はJAが農業者に事前に支払う米の概算金が5年度と比べ3000円から3500円上乗せされた。需要動向に加えて資材や肥料などの生産コストも踏まえたものと伺っており、米の価格転嫁が進みつつあると認識している。市場動向等を注視していくが、現時点では、特段の支援は予定していない。



稲刈りに精を出す営農組合



高岡 宏和

未来創政会

高岡議員の
質問の様子はこちら



災害時の避難方法

問 令和6年能登半島地震を受けて、自動車を利用した避難についての見解は。また、適切な避難方法や行動をどのように説明していくのか。

総務部長 災害時においては、渋滞による逃げ遅れや消防・救急活動の妨げとなることを防止するため、原則として徒歩での避難を呼びかけてきた。しかし、今般の人流データ分析や県民アンケートでは、8割近い方が車で避難し、渋滞が発生したという結果が示され、適切な避難行動の周知が大きな課題であることを認識した。大きな地震発生時には、道路や信号などが深刻な被害を受け、自動車での避難できない事態も想定されることから、引き続き原則として徒歩での避難を周知していきたい。

サーキュラーエコノミー

問 本市が推進するサーキュラーエコノミーと市民生活の

関わりについての基本的な考え方は。

市長 本市では、カーボンニュートラルの取組を進めるにあたり、サーキュラーエコノミーの考え方を取り入れ、地域経済の活性化を図っていくことを目指している。サーキュラーエコノミーによるビジネスモデルがいくつも生まれることで、ヒト・モノ・コトが持続的に循環する「持続可能な未来都市 高岡」の実現につながると考えており、身近な行動変容につながることで本市ならではのサーキュラーエコノミーが実現すると考えている。



新開 広恵

公明党

新開議員の
質問の様子はこちら



防災アプリの周知

問 令和6年度から県で運用を開始した「ユニボイスアプリ」の取得方法や配信内容を市ホームページ等で周知しては。

総務部長 耳で聴くハザードマップのアプリは、紙媒体のハザードマップでは防災情報

を得ることが難しい視覚障がいの方や日本語を十分に理解できない方においても、多言語に翻訳した音声を聴くことで、適切な避難行動に役立てることができる。このため、本市では、このアプリの取得方法や配信内容を市ホームページに掲載するとともに、市内の障がい者団体や外国人コミュニティを通じて周知していきたい。

終活支援

問 本市では、エンディングノートとして人生いきいきノートを作成しているが、普及のための取組は。

福祉保健部長 本市では、平成30年度から、市役所や地域包括支援センターの窓口で人生いきいきノートを配布している。また、地域包括支援センター等が実施する出前講座において、終活をテーマとした寸劇のDVDを見ていただきながら、人生いきいきノートの説明や配布を行っている。今後とも、市広報紙や市公式LINE等を活用して周知するとともに、関係機関と連携し、人生いきいきノートの普及に取り組んでいく。





中村 清志
未来創政会

中村議員の
質問の様子はこちら



道路の維持管理

問 老朽化した区画線等の引き直しの方針は。

都市創造部長 交通事故防止対策の観点から、交通量の多い幹線道路や通学路の指定路線、見通しの悪い生活道路の交差点で重点的に実施している。その他の路線については、道路パトロールの点検結果や自治会からの情報提供等を踏



老朽化した区画線の引き直し

まえ、現地を確認のうえ、損傷度合や緊急性などから優先度を判断し、順次、引き直しを実施している。引き続き公安委員会と連携し、区画線など路面標示の適切な維持管理に取り組み、安全・安心な道路交通の確保に努めたい。

高齢者にやさしいまち

問 高齢者が明るい希望を持てるまちづくりに向けた基本的な考えは。

市長 本市では、「丸ごとつながり自分らしく暮らせるまちづくり」を基本理念に、令和6年度から8年度までを計画期間とする第9期高岡市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を策定した。本計画では、デジタル技術を活用し、住民・医療・介護・行政等が速やかにつながり、より効率的かつ効果的に支援できる体制を確立させることとしている。また、元気な方に対しては健康づくり・介護予防施策の推進、支援が必要な方に対しては安心して在宅生活を送るための支援策、要支援・要介護状態の方に対しては適切な介護サービスの提供などを掲げており、一人ひとりの状態に応じ、自らが望む生活が送れるよう各種施策に取り組んでいる。



山口 泰祐
自由民主党
高岡市議会議員会

山口議員の
質問の様子はこちら



防犯カメラの設置促進

問 安全安心カメラ設置事業について、令和6年度からの設置要件の緩和等の制度の周知に努め、防犯カメラの一層の普及を図っては。

生活環境文化部長 防犯カメラは、犯罪の予防、犯人の早期発見等の効果があり、その設置促進は安全安心なまちづくりに必要である。このため、6年度から、指定通学路以外にも補助対象とする大きな要件緩和を行っており、年度当初から、市連合自治会を通じた各自治会への説明や、市ホームページへの掲載等により案内してきた。補助上限額が指定通学路とそれ以外で異なる点や、申請の上限は年度あたり1団体につき2台までであり、7年度以降も申請可能であることも周知していきたい。

高機能消防指令システム

問 高機能消防指令システム等構築業務について、現状の

通報システムとの変更点を市民にどのように周知するのか。

消防長 現状のシステムからの変更点として、新システムでは、スマートフォンからの119番通報時に、災害現場と指令センターを映像でつなぐ通報システムを導入する予定としている。これにより、指令員が現場の情報を多く得られるようになるほか、救命率向上の効果が期待できる。市民への周知については、市広報紙や市ホームページなどを活用するほか、救命講習会などの機会を捉えて取り組む。



上田 武
立憲民主・
社民議員団

上田議員の
質問の様子はこちら



液状化対策

問 液状化対策に向けての進捗状況と今後のスケジュールは。

都市創造部長 液状化被害の大きい伏木、吉久、横田地区において、面的な液状化対策を検討するため、令和6年5月から地盤調査をはじめ、再液状化の可能性の確認や、有効な対策工法を選定するため

の基礎調査を実施している。現在、土質や地下水位の状況、液状化の発生原因などの分析を行っており、6年10月に分析結果を公表したい。市としては、国の支援も受けながら、追加で地盤調査を行う予定としており、この追加調査結果も踏まえ、6年度末を目途に、有効な液状化対策工法を示せるよう検討を進めたい。

マイナ保険証

問 不安を抱く市民に対して丁寧な説明を行うべきでは。

福祉保健部長 国民健康保険及び後期高齢者医療に加入の世帯に対しては、令和6年7月に保険証を発送した際に、6年12月2日以降の保険証の取り扱い等について記載したチラシを同封した。この中で、保険証は有効期限まで使用できることやマイナ保険証の医療機関での利用方法のほか、マイナ保険証を保有していない方には、保険証の有効期限終了後に、申請いただくことなく資格確認書が交付され、引き続き医療機関等で受診できることについて周知を図った。市ホームページや市広報紙などでも広く周知している。今後も、丁寧な説明に努め、被保険者の不安を解消していきたい。

委員会の動き

常任委員会では、当局の考えを聞き、付託議案の審査を行いました。委員からの主な質疑と当局からの答弁は次のとおりです。

○総務文教常任委員会

問 公共交通活性化事業費について、本定例会の一般質問において、令和6年10月の路線バスのダイヤ改正の影響は軽微と考えているとの答弁があったが、その根拠は。

答 バス事業者からは、高岡駅・新高岡駅間の路線バスの利用状況を6年4月に調査し、利用者に極力影響のないようダイヤ編成に配慮したと伺っている。平日に63〜65便が運行されているこの区間では、

ダイヤ改正後、43〜44便の運行となるものの、1時間あたり3〜4便は確保されることから、影響は軽微と受け止めている。

○民生病院常任委員会

問 高岡市民病院事業の設置等に関する条例の一部改正について、精神神経科病棟の一部個室化により、病床数を50床から42床に変更するとのことだが、現在の運用状況と改修工事の今後の予定は。

答 令和6年9月末までを1期工事、6年11月末までを2期工事として、病棟を2区画に分けて改修している。工事の関係上、現在は10床で運用しているが、10月に1期工事の検査が終われば使用できる病床数は増えると思われる。12月中旬以降に2期工事の検

査が終われば、42床すべてが使用できると見込んでいる。

○産業建設常任委員会

問 農地災害復旧費について、具体的な事業の内容は。また、事業の実施により復旧の進捗率はどうなるのか。

答 畦畔や用水路の復旧に関して、令和6年度に国の災害申請を行ったものは全部で9箇所ある。今回補正する国補助事業費で4箇所が復旧する予定であり、全体では約40%が復旧する見込である。残りの5箇所については、7年度当初予算で対応することとし、7年度を目途に復旧を完了させる予定であるが、一部は8年度にかかる可能性がある。また、市単独事業費については、国の災害査定要件に合わなかった76箇所の被災箇所

の復旧に係るものであり、今回提案している補正予算をもって、現時点におけるすべての被災箇所の復旧が完了する予定である。

令和5年度分の決算審査は、下記のとおり開催される予定です。

決算特別委員会の予定

11月 5日	10時	水道病院会計（大綱説明）
	13時	普通会計（大綱説明）
11月 7日	9時30分	普通会計（審査）
	10時	水道病院会計（審査）
11月 8日	9時30分	普通会計（審査）
	10時	水道病院会計（審査）
11月 13日	10時	水道病院会計（討論・採決）
	13時	普通会計（討論・採決）

編集後記

夏の終わりが見えないほどの暑さが残るなか、9月定例会が開会しました。震災対応をはじめとする市民の生命に向き合う事業等について、私たち議員と市当局は冷静に議論を繰り上げることができたと感じています。

会期中には令和6年能登半島地震の被災地を豪雨が襲いました。いつ、どこで起きるとも限らない災害に対し、本市でも事前防災を徹底すべきと考えます。

さて10月5日には、本市議会で初めて高校生を対象とした議会報告会を開催しました。本号の表紙写真は、議場で模擬議会体験や意見交換での発表を終え、緊張がほぐれた生徒たちの姿です。この経験を未来のために生かされることを願いつつ、我々議員は、意見交換で出た若者の声を、高岡を前へ進めるための糧とし、諸課題に取り組んでまいります。（中村記）

★編集委員

◎中村 ○山上

熊木、梅島、田中、埜田、山口、高岡、中川、酒井

（◎委員長 ○副委員長）

12月定例会の予定

12月定例会は、下記のとおり開催される予定です。

なお、日時等は、11月22日開催予定の議会運営委員会で決定されます。

2日	9時	代表者会議
	10時	議会運営委員会
	11時	議員協議会
	13時	本会議（提案理由説明）
9日	10時	本会議（一般質問（一括））
10日	10時	本会議（一般質問（一括））
11日	10時	本会議（一般質問（一括）予備日）
12日	10時	議会運営委員会
13日	10時	本会議（一般質問（一問一答））
16日	9時	代表者会議
	10時	民生病院常任委員会
	13時	産業建設常任委員会
17日	10時	議会運営委員会
	13時	総務文教常任委員会
19日	9時30分	委員長会議
	10時	議会運営委員会
	11時	議員協議会
	13時	本会議（議案など議決）

♣ 詳しい内容については、高岡市議会事務局（☎20-1531）までお問い合わせください。

本号は、10月27日回に富山県議会議員補欠選挙が行われた影響で、発行から1か月遅れての配付となりました。

市議会の傍聴

本会議及び委員会は、どなたでも自由に傍聴できます。

本会議は82名（うち車椅子利用者は5名）まで、委員会は7名まで傍聴できます。

6月定例会以降の傍聴者数

	本会議	委員会
令和6年 7月	—	8人
8月	—	0人
9月	51人	6人